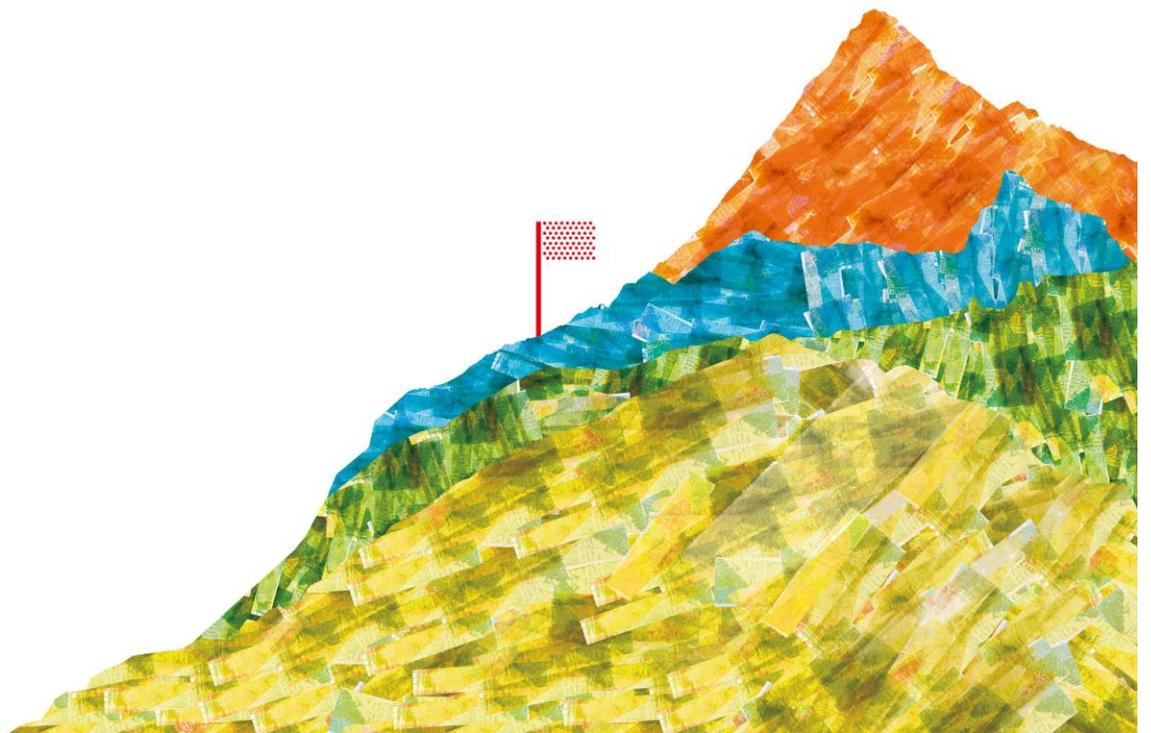


令和5年度 事業報告書

(西東京エリア)



社会福祉法人 こうほうえん

令和5年度事業報告書（西東京エリア）

1 令和5年度総括（成果、反省等を簡単に）

- 1) 新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、徐々にではあるが、エリア内の居宅サービスの利用が活発になり始めてきた。また、特養における面会者も一定の制限は残るものの居室内での面会も可能にできた。
- 2) 収支は、介護事業では上石神井特養が安定化したものの、居宅介護サービスでの稼働が安定せず、人財確保の困難も続いた。介護事業・住宅事業全体の底上げは図れてきた。保育事業での収益の維持もあり、エリア全体での黒字は維持できた。
- 3) 各拠点単位での地域における認知度の向上に努めてきた。地域貢献活動を積極的に展開しているところであるが、周知やかかわり方の薄さ、不定期開催など、地域の実情に応じた対応を引き続き実施していく。
- 4) 住宅・居宅・特養等のサービス別でご利用者の獲得方法が違う事に併せ、居宅介護支援事業者や地域包括支援センターとの連携・情報共有などが不足しており、稼働アップにつながる流れが薄くなってきている。基本に立ち戻り、各拠点単位でのサービス間の連携・協働を進め、ケアマネジャー等への営業活動を推進していく。
- 5) 保育事業においては、各区でも定員割れの園が顕著となっているが、向原保育は98%の運用定員稼働、下落合保育では88%台の稼働となった。特に、下落合の定員割れが顕著であり、今後の園児数減少が見込まれる中、選ばれる保育園になるための取組（保育内容・サービスの質の向上）に引き続き取り組んでいきたい。

2 トピックス（新規事業、重点実施事業等（独自で実施している地域貢献活動含む））

- 1) 新たなこうほうえんファンづくりの一環としてSNSによる情報発信を目指しているが、令和5年度は向原住宅と下落合ショートステイにおいて、インスタグラムを開始することが出来た。
- 2) 向原医療介護連携会議を令和4年3月に立ち上げ、令和5年度は本会議・講演会・勉強会を年2回ずつ開催した。地域包括ケアシステムの構築推進に寄与する取組になっている。
- 3) 向原拠点では、恒例となっているかけはし祭りを中心に、寺子屋向原、かけはし喫茶、つなぎプロジェクトなど、地域住民の交流の場、居場所作りを積極的に展開している。
- 4) 下落合拠点では、近隣マンションの建設に伴う地域の賑やかし検討会議に参加し、地域の町会も含めた検討を継続している。また、保育事業では、認知度アップを目指しおひさまクラブや、わくわく会の開催を定例化している。
- 5) 上石神井特養では、開設以来5年を迎え、稼働状況も安定する中で、看取りに対する体制の強化、カラオケ機器の導入によるレクリエーションの強化など、新しい事に挑戦した1年間となった。また、地域への認知度を高める取り組みとして、開設以来始めて夏祭りを開催。そして、町内会への加入や、暮らしの保健室・食事提供サービス「カレーの日」・施設開放イベント・地域福祉講座など、年間7回のイベントを企画実施できた。

3 エリア目標の達成度合とその評価（戦略会議の資料等）

- 1) 経営の安定化については、毎月の定例会において、稼働状況・収支状況・人財状況を事業単位で前年度同月との比較等の分析を行い、収支改善に努めてきた。エリア全体の利益率は4.2%の見込みである。
 - ・向原住宅は、退去者が出た際の次の入居者の待機準備を小まめに準備するなど、稼働率99.5%とし、収支も改善の方向にある。
 - ・向原DHは、年間平均利用者数21.9人、登録数稼働率75.6%であった。前半は、ご利用者獲得の波が大きかったが、後半は安定化している。
 - ・向原訪問・定期巡回は、職員の退職が続いたことや採用が進まなかったことに併せ、ご利用者が激減し、両事業の登録者数合計でも平均19名と大きく落ち込んだ。新しい利用者の獲得とサービス提供する職員の安定した獲得を急ぎ進めていく。
 - ・向原保育は、運用定員稼働率98%と安定した運営となったが、退職に伴う人員減で運営に支障をきたす一年となった。
 - ・下落合ショートは、2ユニット体制に移行し、令和5年度は稼働率99.5%と高稼働となった。しかし、人件費率や減価償却費が3ユニット部であることなど課題は残るが、収支は改善の方向にある。
 - ・下落合DHは、平均登録者数が19.2名と昨年実績を大きく下回り、登録数稼働率が71.0%と苦戦している。
 - ・下落合保育は、運用定員稼働率88%と定員割れが顕著となり、なかなか定員に埋まらない状況が続いている。また、この数年は利益率の低下も続いており、新たな需要の掘り起こしや多機能化に向けた検討等を進め、安定運営の取組を行う。
 - ・上石神井特養は、稼働率94.7%、SS稼働率96.8%となる安定した運営となった。各種加算についても取得し、入退去空床日数短縮等により黒字化を達成した。
- 2) 地域の中での資源としての繋がりを広げる活動において、各拠点単位での公益的事業を積極的に展開することで、地域の中における「こうほうえん」の認識は確実に広がっている。
- 3) 情報発信の有効チャンネル活用、情報内容の適時な更新と内容の精査において、新たなこうほうえんファンづくりの一環としてSNSによる情報発信を、インスタグラムとして新たに2事業所で開設した。引き続き拡大に努めていく。

4 入所系事業所（デイハウスは登録人数）の稼働率の推移（稼働率：小数点第1位）

事業所名	定員(人)	令和5年度(%)	令和4年度(%)	令和3年度(%)
コーシャハイム向原	50室	99.5	99.5	98.9
デイハウス下落合	27人	71.0	66.6	78.4
特養上石神井	40人	94.9	96.7	87.0
ショートステイ上石神井	4人	97.9	82.3	79.4
デイハウスむかいほら	27人	75.6	88.8	96.0
ショートステイ下落合	27人	99.5	71.9	52.9

5 各エリアの取り組み実績

<p>年間行事一覧</p>	<p>【向原住宅】 4月お花見、移動デパート 6月落語鑑賞、サ高住運営懇談会 7月脱水について講演会 ～ご入居者・地域住民向け～ 8月染物ワークショップ ～ご入居者・地域住民・子供向け～ 塗り絵の会 9月サ高住個人面談 10月移動デパート、AJCC 11月かけはしまつり 12月サ高住運営懇談会、クリスマス茶話会 1月和太鼓演奏会 2月認知症について講演会 ～ご入居者・地域住民向け～ 3月サ高住運営懇談会</p>
<p>BCP等訓練実施状況</p>	<p>実績なし</p>
<p>エリア内研修状況</p>	<p>下落合：食中毒研修、感染症研修、防災研修、コミュニケーション研修、新人向け法令順守研修</p> <p>向原住宅：ACP研修、相談員研修会、ユマニチュード、虐待防止研修、救命講習、ポジティブメンタルヘルス研修、レジデンシャル研修、キャラバンメイト養成研修、権利擁護研修、発達障害との向き合い方研修、腰痛対策講演、何気ない一言で人を傷つけない為の研修、BCP研修、カスタマーハラスメント研修、キャリアパスチームリーダー研修、ホームページ研修、大人の発達障害研修、認知症研修、こうほうえん会長講話、ストレスマネジメント研修</p> <p>向原訪問：身体拘束・虐待防止研修、ユマニチュード、中途採用者研修、ハラスメント研修、中堅職員研修等</p>
<p>エリア内会議、委員会活動</p>	<p>向原住宅：西東京調整会議、向原定例会議、サービス付き高齢者向け住宅相談員定例会議、向原医療介護連携会議、かけはしPJ会議、安全衛生委員会、職場環境検討委員会、防災係、虐待防止委員会、苦情解決第三者委員会、広報係</p>
<p>委員会活動等の成果・実績・反省</p>	<p>向原住宅：サ高住に併設するクリニック、訪問看護、介護事業所が協働。向原医療介護連携会議で意見を出し合い、ご入居者、地域住民、こうほうえん職員向けの講演会や勉強を開催することができた。</p>

6 人財状況

外部研修等講師派遣実績	向原住宅；東京大学 高齢社会総合研究機構 発表
外部役職就任状況	なし
外部表彰受賞状況	なし

7 地域貢献実績（保育園含む）

実習受け入れ実績 <u>延人数 135人</u>	下落合 SS: 帝京大学看護学科 看護実習 116人 DH 向原: ① 社会福祉士実習: 武蔵野大学 1人、昭和女子大学 1人、日本女子大学 2人、昭和女子大学 1人、日本福祉教育専門(通信) 1人、日本福祉教育専門(昼間部) 1人、東京家政大学 1人、早稲田大学 1人、東京通信大学 2人 ② 介護福祉士実習: 東京未来大学 1人 上石神井: 武蔵野大学別科 7名
ボランティア受け入れ実績 <u>延人数 324人</u>	下落合介護 1名 向原住宅: 197名(かけはしまつりボラ含) DH むかいほら 実人数 3人、延べ人数 126人
見学受け入れ実績 <u>実人数 267人</u>	下落合介護: 学生 31名 ご利用者 下落合 SS 20名 ・ 下落合 DH 6名 向原住宅: 131名(入居希望者等 87名、東京都、大学教授、JKK等 44名) DH むかいほら 学生 6人、住宅経由 10人、地域 5名 訪問むかいほら 住宅経由 3名、入職希望者 5名 上石神井: 利用希望者 50名
地域交流活動実績 1 <u>延人数 532人</u>	(事業所内又はこうほうえんが主催した交流事業) 向原: 寺子屋むかいほら 214名、かけはしまつり 300名 かけはしカフェ 18名
地域交流活動実績 2 <u>延人数 31人</u>	(地域の交流事業に利用者と共に参加したもの) マンション解体祭り 下落合 SS 8名 ・ 下落合 DH 8名 もちつき 下落合 DH 3名 向原住宅: 寄席 2名、ひとはなサロン 5名、こども食堂 2名 DH 向原: サロン向原 職員 1人、ご利用者 2人
ボランティア・環境活動等の実参加者数	(ボランティア・環境活動等に 1回でも参加した職員数) 2人 / エリア職員数 向原住宅: 団地まつり 3名

ボランティア・環境 活動参加実績 1 投入実人数 3人	(清掃活動・消防団活動・地域防災活動等) 向原住宅：大谷口クリーンデー2名、大谷口防災勉強会1名2回 板橋区総合防災訓練
ボランティア・環境 活動参加実績 2 投入実人数 0人	(見守り活動・学校活動の手伝い等) 実績なし
地域発信活動実績 (介護、看護の日、 イベント開催等)	下落合 DH 夏祭り 地域への広報のみ(感染症のため苑内のみ実施)
地域発信活動実績(認 知症サポーター養成講 座、地域包括支援センタ のみの活動は除く)	実績なし
地域発信活動実績 (講習会、講演会の主催 及び参加等、地域包括支 援センタのみの活動は除 く)	向原住宅：権利擁護関係機関連絡会参加、板橋区第2層協議体大 谷口支え合い会議参加、地域と企業の連携～より具体的 な取組～参加 向原訪問：大谷口地域ケア会議

8 その他報告事項

事故の発生状況 (レベル3以上の事故)	こうほうえん事故レベル定義		年間件数
	レベル3	事故の為、医療機関での継続的な治療が必要になった場合	4
	レベル4	事故により、障がいが残った場合	0
	レベル5	事故が死因となった場合	0
虐待及び身体拘束の 状況	(実人員、延日数、簡単な状況を記載) 高齢者虐待防止法に定める「虐待の疑い」があると判断し、市町村へ通報した事案はありませんでした		
感染症の集団発生状 況(保健所報告分)	(報告日、収束日、感染者数を記載) 保健所に報告義務のある人数まで感染拡大はありませんでした		
ご意見	設備に関する苦情	職員に関する苦情	感謝のご意見
	住宅 1 件	DH1 HH2 件	住宅 2 件



社会福祉法人 こうほうえん

令和6年6月12日

社会福祉法人こうほうえん

〒684-0063 鳥取県境港市誠道町 2083 番地

法人本部事務局

〒683-0853 鳥取県米子市両三柳 1400

TEL (0859) 24-3111 FAX (0859) 24-3111
